



10

[CONTENTS]

INKA TEST

Audi A4 の品質を実証する、極限状態を再現した過酷な車両テスト「防錆^{ぼうさつ}／経年劣化(INKA)テスト」

Audi at home

プレミアムモビリティサービスの「Audi at home」をアジア地域でも開始

FC Bayern München

サッカー選手は RS モデルがお気に入り
FC バイエルン・ミュンヘンの監督、選手にアウディ車両を貸与するイベントを開催

■本件に関する報道関係の方のお問い合わせ

アウディ ジャパン 広報部
丸田、小島、初村 Tel. 03-5475-6309

アウディ ジャパン 広報事務局 (ピーアールコンビナート株式会社)
大島、覚張、大木 Tel. 03-6385-4945 Fax. 03-3263-5623 E-mail. audi@prk.co.jp



今年2月にテクノロジーとデザイン的美を融合し8年ぶりにフルモデルチェンジを果たしたAudi A4。



4月にはプレミアムステーションワゴンとして、世界中の市場で高い人気を博してきたAudi A4 Avantが販売を開始。



9月にはAudi A4 allroadが登場。今後もAudi A4 1.4や、Audi S4がラインナップされ、シリーズの拡充を図っていく。

INKA TEST

Audi A4 の品質を実証する、極限状態を再現した過酷な車両テスト「防錆／経年劣化 (INKA) テスト」

アウディのすべてのモデルは、量産体制に入る前に数多くのテストをクリアする必要があります。それは今年2月に発表された新型Audi A4においても例外ではありません。アウディにとってちょうど100台目となる「防錆／経年劣化 (INKA) テスト」は、このAudi A4に対して実施されたものでした。

INKAテストは、2002年よりアウディの品質保証部によって実施されている防錆／経年劣化テストです。Audi独自のこの略語は「インゴルシュタットの腐食および経年変化テスト」の頭文字をとったもので、12年間のクルマの経年劣化を19週間でシミュレートする、アウディが実施する車両評価実験の中でもっとも過酷なものです。

この耐久テストは5段階で実施されます。第1段階では、まず風洞実験施設で300km/hでの走行状況を再現する中で、風と土砂降りの雨にさらされます。次に車体に塩が噴霧され、35℃の気候実験室のなかに置かれます。第2段階では温度を高め、最高温度50℃、湿度100パーセントの熱帯気候を再現します。第3段階では出力1,200ワットのハロゲンライトを合計80個用意し、クルマに光をあて、ボディを最高90℃まで熱します。この状況においても室内が退色したり、素材が脆くなることはありません。

第4段階では冬期の状況を再現します。マイナス35℃のもと、4ポストのハイドロパルスマシンを使ってクルマを揺さぶり、悪路走行時のボディのねじれやエンジンマウントなどの各パーツの歪みをシミュレートします。それと並行し第5段階として、実際にドライバーが屋外テストコースに設定された専用のルートを繰り返し走行するテストも行います。

品質保証の仕事は部屋の中だけで完結するものではありません。自動車は世界中のさまざまな気候や道路状況の中で酷使されるからです。Audiの新型車には、あらゆるマーケットで日常的に使用されることを前提に、玉石、砂利、塩水、そして泥などさまざまな路面状況において、トータルでおよそ250万kmのテスト走行を実施することが義務づけられています。ときに開発チームのメンバーは、不快なノイズの発生源を突き止めるためトランクの中に潜り込み、不整路を数kmにわたって走行することもあります。

これまでに100台のINKAテストを実施する過程で、アウディの品質保証部は合計32万2,500時間を費やし、2,800回のマッド（泥）テストと1,900回のソルト（塩がまかれた路面）テストを実施してきました。AUDI AGマテリアルズエンジニアリング責任者のシルヴィア ドロールは次のように述べています。「アウディは卓越した製造品質、上質な素材と仕上げ、高い信頼性の代名詞です。登録後に年月が経過したクルマであっても、その性能は維持されなければなりません。INKAテストは、私たちの製品の品質を保証する上で重要なツールのひとつであり、生産方式を最適化する上でも、重要な役割を果たしています。」



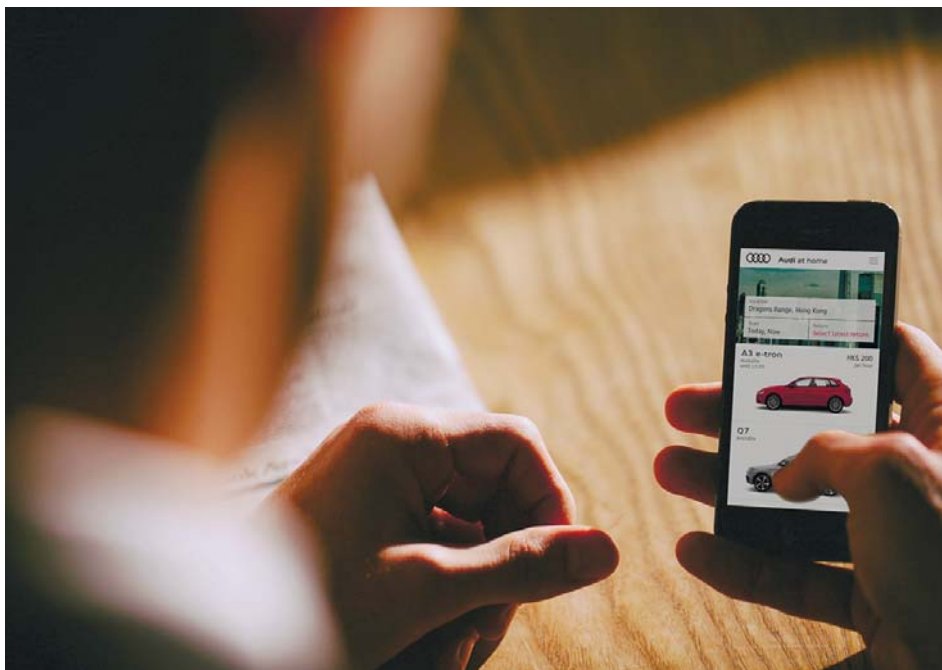
米国での好評を受け、アウディブランドの価値をより多くの人々に体験してもらう機会、また、巨大都市における慢性的な駐車場不足の合理的な解決策として、アジアで初めて香港でサービスを開始。今後、アジアの他の大都市でも高級不動産プロジェクトに導入していく予定です。



サンフランシスコのLUMINA luxury condominiumにて。「素晴らしいサービスで、誰もが一度はトライすべきでしょう。」と利用者がコメントするなど好評を博している。



香港有数の高級分譲マンション「ドラゴンレンジ (玫瑰山)」に配備された Audi TTS Coupé。



Audi at home

プレミアムモビリティサービスの「Audi at home」をアジア地域でも開始

2008年に開始された、いわゆる民泊の「Airbnb」を皮切りに、ライドシェアの「Uber」や「Lift」など、不特定多数の人々がインターネットを介して乗り物やスペース、モノなどを共有できる「シェアリングエコノミー」というサービスが拡大しています。シリコンバレーを起点にグローバルに成長してきたこれらのサービスは、総務省によると2013年に約150億ドルの市場規模であったものが、2025年には約3,350億ドル規模に成長すると見込まれています。また自動車の領域においてはカーシェアリングやレンタカーの市場規模も年々右肩上がりの傾向をみせています。

そうした中、アメリカの高級アパートメントである、サンフランシスコ「LUMINA luxury condominium」とマイアミ「Four Seasons Residences」で2015年11月より開始したサービスが「Audi at home」です。このサービスは、アパートメントにAudi S7、Audi S5 カブリオレ、Audi SQ5、Audi TT Roadster、Audi Q7、Audi A3 Sportback e-tronなどのアウディモデルが配備されており、住人は登録手続きを済ませれば、24時間いつでも好きなモデルを使用することができるというものです。配備車両は一定期間でローテーションされるため、さまざまなアウディモデルのドライブ体験が可能となります。予約はスマートフォンで行えるほか、コンシェルジュデスクを介して手配することも可能です。料金は、最短1時間から最長7日間まで幅広く設定されています。基本サービスには、保険及び入念な保守点検作業が含まれており、利用に際しての走行距離制限などはなく、返却前に給油するといった手間も必要ありません。使用後はアパートメントの駐車係に車両を戻すだけで手続きは完了します。

そしてこの度、米国での好評を受け「Audi at home」のサービスが、初めてアジア地域にも導入されました。部屋数が1,000にも及ぶ香港有数の高級分譲マンション「ドラゴンレンジ (玫瑰山)」の住人は、配備されたアウディモデルの中から好みの1台を選んでドライブできるようになります。このサービスは世界でもとくに要求の厳しい自動車マーケットであるアジア地域において、アウディブランドの価値をより多くの人々に体験してもらう新たな機会であると同時に、アジアの巨大都市における慢性的な駐車場不足への合理的な解決策を提供するものです。

AUDI AG セールス&マーケティング担当取締役のディエトマー・フォグゲンライターは次のように述べています。「大都市には人口が集中するため、合理的な解決策が必要になっています。香港はこのようなサービスを導入するのに理想的な場所です。「Audi at home」は、アウディならではのプレミアムな基準を満たしたモビリティサービスのひとつであり、今後さらに、数多くの巨大都市で導入していこうと考えています。」



FC Bayern München

サッカー選手はRSモデルがお気に入り

FCバイエルン・ミュンヘンの監督、選手にアウディ車両を貸与するイベントを開催



(上) 監督のカルロ アンチェロッティは「私は運転が好きです。いつもは Audi A8 に乗っていますが、長く運転していても疲れなし、とても快適です。」と話しています。

(中) スポーツモデル Audi RS Q3 を選択したドイツ代表のトーマス ミュラー

(下) インゴルシュタットにあるアウディピアッツァ(広場)で、チーム選手とコーチが、アウディ会長のルパートシュタットラーから、新しいカンパニーカーを受け取る式典が開催。多くのファンとアウディ従業員がチームを歓迎しました。

アウディはFCバルセロナや ACミランといった名だたる国際的なサッカーチームへ車両を提供し、サポートしています。ドイツを代表するサッカーチームである FCバイエルン・ミュンヘンとは 2002 年よりパートナーシップを築いて以来、今年で 15 回目のシーズンを迎えます。毎年、ドイツのプロサッカーリーグ・ブンデスリーガのシーズンの開幕にあわせたタイミングで、FCバイエルン・ミュンヘンの監督やコーチ、選手たちへ新型のアウディ車両を貸与するイベントを実施しています。

「FCバイエルン・ミュンヘン (Bayern München)」は、ドイツプロサッカーリーグに加盟する世界最大規模のチームのひとつです。昨シーズンには、ブンデスリーガ史上初の 4 連覇を達成するなど、さまざまな記録を打ち立て今シーズンも活躍が期待されます。

この納車イベントは選手たちにとって、新シーズン開幕を迎えるにあたり恒例行事のひとつとなっています。8月26日に開幕した 2016 / 17 シーズンに合わせ、インゴルシュタットにあるアウディピアッツァ(広場)では、選手とコーチへ新型車の受け渡しを行う式典が開催されました。地元から駆けつけた何百人ものファンをはじめ、数多くのアウディ従業員も含め、スター選手たちを間近に触れることができる絶好の機会です。サイン会や写真撮影などのファンサービスの時間が設けられたほか、ストライカーのロベルト・レヴァンドフスキは、用意されていたアウディ A1 のトランクに設置されたゴールにシュートするイベントプログラム『アウディ・チャンピオンショット』でファンの 1 人と対戦し、その決定力の高さを証明しました。

今年チームに新加入したマッツ・フンメルスや監督のカルロ・アンチェロッティにとっては、初のインゴルシュタット訪問でした。スポーツ選手らしく、15 人のプレーヤーはスポーティなモデルである RS6 Avant や、RS7 Sportback といった RS モデルを選択。新加入したレナト・サンチェスは、街乗りに適したコンパクトカーの Audi A3 Sportback を選び、監督のカルロ・アンチェロッティはこのイベントに先立ち、今年 7 月に Audi S8 plus を受け取っています。

アウディと同クラブの協力関係の成果として、2009 年から 2 年に 1 度のイベントである、FCバイエルン・ミュンヘンのホームスタジアム、アリアンツ・アレーナを舞台としたトーナメント戦の「アウディカップ」を主催するほか、ドイツ国外では「アウディサマーツアー」を開催してきました。アウディは FCバイエルン・ミュンヘンの株式を 9.09% 保持しており、チームへの車両貸与だけではなく、このようなイベント活動など長期にわたってサポートを続けています。